

評価概要

「議員活動の自己評価」

令和4年度分（令和4年4月～令和5年3月）

平成17年から始めた議員の自己評価は、今回で18回目となります。右表の5主要指針に基づいて具体的に取組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の168項目中、「○ほぼ満足」が83件で49%、「△努力が必要」が77件で46%、「▲さらに努力が必要」が8件で5%となりました。

次に、「成果の評価」については、項目全体の168項目中、「○ほぼ満足」が46件で27%、「△努力が必要」が84件で50%、「▲さらに努力が必要」が38件で23%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が49%ですが、成果の評価では27%と大きく差があります。

今後も各議員の取組みが今まで以上に成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、2名の議員から報告がありました。

● 自己評価の指針

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度(居眠り、私語など)、審議の態度(品位の保持、審議への協力)
2. 監視評価	一般質問、質疑・意見交換・討議(発言)、討論などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、質疑・意見交換・討議(発言)、討論などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、質疑・意見交換・討議(発言)、討論などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

● 議員別の評価集計

議員名	佐藤孝男		平沼昌平		木村 隆		川村明雄	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	12	9	12	7	10	9	11	3
△ 努力が必要	2	5	5	8	5	5	8	16
▲ さらに努力が必要	0	0	0	2	0	1	2	2
計	14	14	17	17	15	15	21	21

● 議員個人としての活動

	藤山 大	溝部幸基
報告会等の実施	—	1
議員だよりの発行	—	—
個人ホームページの開設	—	○
その他	○	—

議員名	杉村志朗		藤山 大		小鹿昭義		平野隆雄		溝部幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	10	5	13	7	3	0	2	1	10	5	83	46
△ 努力が必要	1	1	9	13	10	13	15	10	22	13	77	84
▲ さらに努力が必要	2	7	0	2	0	0	1	7	3	17	8	38
計	13	13	22	22	13	13	18	18	35	35	168	168

[分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」=取組の評価 「成果」=成果の評価]

教えて!

ぎかいのコトバ 議員活動の目標(公約)とは?

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標(公約)として、平成19年から公表しています。

本年度は、9名の議員で総数項目137項目(昨年度:9名提出 161項目)となりました。

* 個人票はP24～P31に掲載しています。



「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」、
▲＝「さらに努力が必要」
評価期間：令和4年4月～令和5年3月



佐藤 孝男 76歳

議員歴28年
経済福祉常任委員長
議会運営委員
渡島西部広域事務組合議会議員



平沼 昌平 67歳

議員歴18年
議会運営委員長
経済福祉常任委員
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	若者の定住と雇用の場の推進	△	△
	大型公共施設に向けての提言（吉岡温泉ゆとらぎ館、種苗センター）	○	○
財政	財政健全化の推進	○	○
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成	○	△
	ほだ木確保のため町有林調査、作業路の整備	○	△
福祉	町立診療所の健全運営	○	○
	予防医療の推進	○	○
教育	学校給食での地場作物利用強化	○	○
	食育の取組み推進	○	△
その他	体験学習の推進	△	△
	町民との懇談、各産業団体との懇談を通して議会活動に役立てる	○	○
	各種行事の積極的な参加	○	○
	第2青函トンネルの実現に向けての推進	○	○
	松前半島道路の早期実現に向けた推進	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	○	○
	IT環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進	○	▲
	防災対策と危機管理の提言	○	○
財政	財政健全化に対する効率的な財政運営に対しての提言	○	△
	有利な財源を使った町内経済の活性化等の提言	○	△
経済	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	○	△
	農林水産業の担い手対策と町内雇用の創出（地元企業の雇用環境の充実を含む）	△	△
	地場産品の開発と研究・異業種とのマッチングを進める人材・団体の助成	△	△
	地場産品の地産地消に向けた自律循環システムの構築に対する提言	△	△
福祉	新型コロナウイルスに対する感染対策とウィズコロナの対応に向けた取組の提言	○	○
	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言	○	○
	健康福祉の向上と医療費抑制に対する提言（がん検診の向上）	○	▲
教育	ゆとりのある子育て環境の充実と英語教育の充実	△	△
	小中高一貫教育の在り方とIT教育の充実	△	△
その他	議会議員の魅力化と町民参画型議会活動の充実（議員のなり手不足対応に向けて）	○	○
	松前・福島間の現国道に対する防災対応の迂回道路建設に向けた提言	○	○
	鳥獣駆除に対する環境整備と担い手確保に向けた提言	○	○



読めば読むほど 詳しくなれる！ するめコラム⑥

第2青函トンネルとは？

津軽海峡に新たに掘られる可能性のあるトンネルです。現在の青函トンネルは、在来線の貨

物列車と共用する区間があることから、最高速度がおさえられていますが、実現することで課題が解決し、新幹線の速度向上につながります。

青函トンネル工事基地であった福島町が「第2青函トンネル構想を実現する会」を設立し、講演会の開催など構想実現に向けた情報発信等の取組が行われています。

3月12日開催の特別講演会は函館市にて国会議員をはじめ約200人の参加がありました。



木村 隆 43歳

議員歴16年
総務教育常任委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	防災無線の役割の検証	△	△
	産学官の新たな展開、可能性を探求	○	△
	第2青函トンネルの活動推進	○	△
財政	大型公共事業に伴う財源の確保	○	○
	コロナ交付税を利用した景気循環政策	○	○
	ウッドショック、円安など物価上昇に伴う対策	△	○
経済	吉岡漁港整備と漁獲向上対策	△	△
	木材チップ等林業政策の充実	○	○
福祉	介護従事者の作業効率を上げる仕組み作り	△	△
	国保税統一化に伴う影響を注視	○	○
	ゴミ減量化施策	△	○
教育	コロナ禍における学校教育の充実	○	○
	高校の町外生徒受け入れ対策	○	○
	プログラミング教育講座の再考	○	▲
その他	子育て環境の充実	○	○



川村 明雄 77歳

議員歴15年
総務教育常任委員長
議会運営委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	ゼロカーボン対策の推進	▲	▲
	第二青函トンネル構想の推進	△	△
	道の駅構想への考察提言	△	△
財政	各基金の有効活用	△	△
	町内経済活性化対策	○	△
	特別職の財政負担考察	△	△
経済	陸上養殖アワビ生産拡大対策	○	△
	寄付された森林等の活用施策と林産業の開発促進	○	△
	地場産品の開発、ブランド化対策	△	△
福祉	障害者の雇用促進	○	△
	シルバー人材センターの考察	○	△
	がん検診受診率向上対策	○	△
教育	福島高校の魅力開発対策	○	○
	教員の働き方対策	△	△
	小中高一貫教育の考察	△	△
その他	町民要望に対する即時対応	○	○
	若年層の文化活動の推進	○	○
	今冬の降雪被害建物の解体	△	△
	ウクライナ国民難民受け入れ計画	▲	▲
	町内公衆トイレの美化対策	○	△
	中古住宅利活用対策の考察	○	△



杉村 志朗 74歳

議員歴24年
総務教育常任委員
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想の早期実現の推進	○	○
	景観が損なわれる空き家住宅の調査	○	▲
	安定的定住対策の推進	○	△
財政	コロナウイルス後による町内景気の回復	○	▲
	町内診療所の経営黒字化の実現努力	△	▲
経済	町内スポーツ施設利用者増に期待	○	▲
	養殖アワビ飼育の安定営業	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
福祉	少子化対策と高齢者医療の充実	○	○
	社会福祉協議会の健全経営	○	○
教育	地元、小・中学生徒のスポーツ活動の支援	○	○
	福島商業高校における募集成果に期待	○	▲
その他	松倉地区の水田跡地の活用	▲	▲
	運転免許証返納者への対応	▲	▲



藤山 大 48歳

議員歴10年
経済福祉常任副委員長

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	○	○
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	○	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	○	○
	町立診療所運営健全経営推進	△	▲
経済	一次産業のさらなる発展への提言	△	△
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	○	○
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	新型コロナウイルス感染症対策（人的支援・町内経済支援）	○	△
	B級グルメ等福島町の良さのPR強化	○	○
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
教育	福島商業高等学校存続対策	○	△
	今後の小学校のあり方（福島小学校と吉岡小学校の統合）	△	△
	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	△	△
	豪雪・暴風（災害）による休校時のzoomを活用した自宅授業を提言	○	△
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	▲
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	○	△
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	○	○
	インターネットを使っての報告（YouTube、Twitter、Zoom）	○	○
	吉岡温泉の予算を含めたチェック	○	△



小鹿 昭義 70歳

議員歴3年
経済福祉常任委員
議会運営委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	△	△
	第2青函トンネルの構想実現	○	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で町民と共に、未来に向かうまちづくりへの提言	△	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進、町関係施設の黒字化を提言	△	△
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	△	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光事業の推進	△	△
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言	○	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	△
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	△
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む	○	△





平野 隆雄 74歳

議員歴27年
副議長
広報・広聴常任委員長
総務教育・経済福祉常任委員
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進の実現へ	△	△
	町内景気の活性化推進で交流人口増	△	△
	福島川改修事業の早期実現	○	△
財政	財政調整基金の活用	△	△
	町立診療所運営の健全経営実現	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
財政	各町内会館の再編推進	△	△
経済	養殖コンブ製品増の推進	△	△
	スルメ加工以外の商品開発推進	△	▲
福祉	アワビカレー更なる生産増	△	▲
	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	△	▲
	吉岡温泉ゆとらぎ館新築の早期実現へ	△	△
教育	がん検診の検診率向上推進	△	▲
	少子化の中の教育行政推進	△	△
	学芸員配置で縄文土器等による町づくりで交流人口増	△	▲
その他	青少年交流センター建設の推進	○	○
	学校等における相撲人口増で横綱の里推進	△	▲
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進	△	△
	木古内、知内、福島、松前に高規格道路整備の推進	▲	▲



溝部 幸基 75歳

議員歴42年
議長
総務教育・経済福祉常任委員
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進(各計画に関する提言・検証)	△	△
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査	△	▲
	「公契約条例」に関する調査研修	△	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託・時間差出勤・研修等)	△	▲
	防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)	△	△
	過疎自治体における政策推進のあり方	△	▲
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進	○	△
財政	財政健全化への取組(予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	各団体等への補助金、事業助成金等のあり方	△	△
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	△
	異業種連携による「福島ブランド」の開発(ブランド化システムの再検討)	△	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	産業団体と課題に取組む産業公社の仕組みづくりの調査研修	△	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
	鳥獣捕獲処理に関する調査研修(施設建設関連調査)	○	○
	制度融資の貸し剥がしに関する調査研究	○	○
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査	△	▲
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減	△	▲
	公立診療所のあり方に関する調査研修	△	▲
	在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会の役割)	△	▲
	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修	○	△
教育	小中一貫教育、コミュニティスクールの調査研修	▲	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)	△	▲
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
その他	食育・地産地消の推進(「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)	△	△
	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現(議会基本条例の周知)	○	△
	活発な討議(討論)ができる議会の実現	○	△
	政策的な提案のできる議会の実現	○	△
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○
	視察の積極的な受け入れ(栗山町、愛媛県愛南町、群馬県桐生市、長崎県松浦市、様似町)	○	○
ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△	
各種行事への積極的な参加	○	○	